

## 【医療・福祉職専門人材採用代行サービス「ACTING\_HR」リリースのお知らせ】

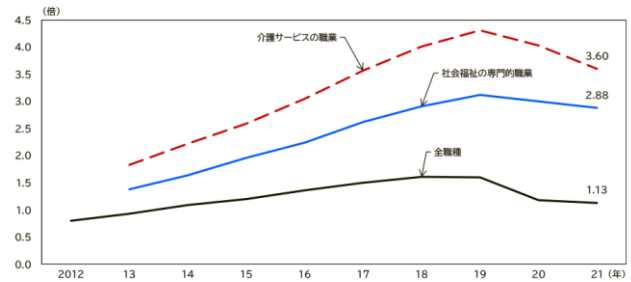
福祉人材の採用に苦戦する施設へ、高額な紹介手数料の代替案として期待

保育園経営の実績をもとに、社員教育を展開しているエールエイド株式会社が、医療・福祉人材に特化した採用代行サービスを開始しました。医療・福祉業界において高額な人材紹介手数料が、各施設の経営を圧迫する中で、採用人事活動を代行し、且つ直接採用の仕組みを譲渡することで手間が減り、採用コストが下げられると好評をいただいています。

厚生労働省が公表している「令和4年度版厚生労働省白書」によると、医療・福祉分野の就業者は20年間で410万人増加していて、令和3年現在で事務職を含む就業者数は891万人となっています。これは国が施策として実施している「介護士や看護師、保育士等の処遇改善等の一定の成果」と書かれています。ただし別資料「職業紹介事業報告・令和3年度有料職業紹介事業に関する手数料収入の推移」では新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年以外12年連続の増加となっており、人材確保に関する手数料の増加が伺い知れません。

第2-(1)-5図 介護・福祉分野の有効求人倍率の推移

○ 介護サービス職や保育士等を含む社会福祉の職種の有効求人倍率は、全職種を大きく上回って推移している。



資料出所 厚生労働省「職業安定業務統計」をもとに厚生労働省政策統括官付政策統括室にて作成

(注)

1) 実数を掲載している。

2) 「介護サービスの職業」は、介護サービス員、ホームヘルパーなどを指す。

3) 「社会福祉の専門的職業」は、ケースワーカー、介護支援専門員、スクールソーシャルワーカー、保育士、心理カウンセラー（社会福祉施設など）を指す。

4) 「介護サービスの職業」「社会福祉の専門的職業」の有効求人倍率は2013年以降の実績が公表されている。

こういった高額の採用手数料は、各施設の経営における大きな課題として共通しており、「採用したくてもできない」「すぐに辞められると困る」と頭を悩ましています。そこで、自社の直接採用力を高めるために、福祉系人材派遣会社とコラボして「採用代行」サービス提供を開始しました。

本サービスは求人媒体への登録、検索対策や、求職者へのスカウトメール、また応募受付や面談の日程調整を一手に委託することで、手間を削減し、尚且つ、サービス終了後には採用の仕組みを提供し、自社で運営できるようになる、といった特徴を持っています。

自社採用力があがる事で、採用コストは採用希望人数が多いほど削減できる可能性が高くなります。一方求職者にとっては、「仲介業者への手数料」というハードルが無くなるため、企業へ採用されやすくなります。企業側から「高い手数料を支払ったという、過度な期待」をなくすことができます。

現在は関西2府を中心におおよそ10施設からスタートしまして、営業対象エリアを東京都、神奈川県にも拡大しています。人材を確保したいが、紹介手数料が高額で悩んでいる事業所にはうってつけのサービスとなっていますのでご興味ある方はご一報ください。

■本件に関するお問い合わせ先  
エールエイド株式会社 代表取締役 長谷川 裕  
メールアドレス：hasegawa@yellaid.com  
電話番号：090-5649-4709